

学会誌論文規格

2022年7月 学会誌編集委員会

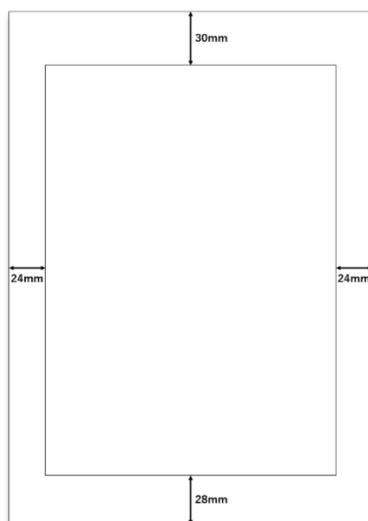
1. 論文等の原稿サイズと余白

1.1. 論文等の原稿はA4判とする.

1.2. 上下と左右の余白については、以下のように設定する.

(1) 論文等の第1ページ目（表題や著者名，または投稿者の住所，氏名，Eメールアドレスなどの連絡先を書くページ）の規格
第1ページ目の余白は自由とする.

(2) 論文等の第2ページ目（表題・氏名・要旨などを書くページ）以降の規格
以下の図の通りに余白を設定する.



2. 論文等で使用するフォント

2.1. 日本語の場合のフォントはMicrosoft Wordによる「MS 明朝」を使用する。また，英語の場合のフォントはMicrosoft Wordによる「Times New Roman」を使用する。

2.2. 論文等の第1ページ目の記載事項

論文等の第1ページ目のフォントサイズは自由とする。

2.3. 論文等の第2ページ目の記載事項

(1) 表題は，日本語，英語とも16ポイントとし，ボールド（B）で太くする。英語による表題については，接続詞を除く各単語の頭文字に大文字を用いる。

(2) 副表題（サブタイトル）がある場合，日本語による副表題は14ポイントとし，2本

の全角ダッシュで挟み込み表示する（例、「表題 16pt —副表題 14pt—」）。英語による副表題はコロンでつなぎ16ポイントとする（例，“Title 16pt: Subtitle 16pt”）。日本語・英語ともボールド体とする。英語による副表題については、接続詞を除く各単語の頭文字に大文字を用いる。

- (3) 表題と副表題は中心揃えとする。
- (4) 日本語、英語とも著者名は14ポイントにし、右揃えとする。英語の著者名の頭文字には大文字を用いる。
- (5) <要旨><キーワード>という見出しは左揃えで10.5ポイントのボールド体とする。それぞれのテキストは改行し左揃えで記入する。Abstract, Keywordsという見出しは中心揃えで10.5ポイントのボールド体とする。それぞれのテキストは改行し左揃えとする。

2.4. 論文等の第3ページ目以降の記載事項

- (1) 論文等の節は、14ポイントでボールド体とする。節に用いる数字は半角（例、「2. 見出しタイトル」）とする。
- (2) 論文等の項は、12ポイントでボールド体とする。項に用いる数字は半角（例、「2.1 見出しタイトル」）とする。
- (3) 論文等の目は、10.5ポイントでボールド体とする。目に用いる数字は半角（例、「2.1.1 見出しタイトル」）とする。
- (4) 論文等の要旨、キーワード、本文、謝辞、注、付録、参考文献は、10.5ポイントとする。

3. 行間

3.1. 論文等の節の行間

論文等の節の直前行は1.5行空け、直後行は0.5行空ける。

3.2. 論文等の項の行間

論文等の項の直前行は1行空け、直後行は行間を詰める（空きなし）。

3.3. 論文等の目の行間

論文等の目の直前および直後行は行間を詰める（空きなし）。

4. 印刷カラー

モノクロとする。

【参考】

論文等の投稿者におかれましては、『管理会計学』の最新の学会誌執筆要領、学会誌論文規格、学会誌原稿入力規格に合致しているかをよく精査のうえご投稿ください。入稿原稿の図表は、画像ファイルをコピーして製本しますので、細かな図や表、数式等の見え方を入念にご確認ください。これらの要領や規格に合致させる作業は、掲載される全論文の様式の一体性を確保するために不可欠なステップです。ご協力をお願いいたします。